

2018 年度 S セメスター 日本語 (32) : アカデミックスキル (総合) (L3-L4) シラバス  
Japanese (32): Integrated Academic Skills (L3-L4)

2018 年 4 月 11 日

曜日・時限 : 水曜 4 限 教室 : 10 号館 203

対象 : PEAK 後期生、KOMSTEP 生、USTEP 生

レベル : L3-L4 (中級前半)

科目種別 : 選択 単位数 2 単位

担当教員 : 松下 達彦 (まつした・たつひこ)

Eメール : \*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*

電話 : \*\*\*\*\* (研究室直通) または 内線 \*\*\*\*\*

研究室 : \*\*\*\*\*

面談・アドバイスを希望する場合 : 事前にアポイントメントを取ることが望ましい。

(\*曜、\*曜、\*曜の\*限は研究室にいることが多い。)

### **授業の目標、概要 (Course Objectives/Overview)**

This course is designed for students at the lower-intermediate (L3-4) level who have already completed the elementary Japanese course. The aim of this course is to help students collect information from people, internet and other media to understand Japanese and international community, with a special focus on developing academic vocabulary and expressions. The topics for this course are mainly on academic genres.

Specifically, by the end of the course, students are expected to be able to

- 1) increase vocabulary and socio-cultural knowledge to understand common academic prose and speech,
- 2) discuss the issues on cultural, social and/or academic topics from multi-angle perspectives and develop critical and creative thinking, and
- 3) expand the intellectual network and acquire knowledge for exploring issues based on a suitable academic framework in humanities, social sciences or natural sciences.

### **授業のキーワード (Keywords)**

学<sup>がく</sup>術<sup>じゆつ</sup>スキル / 語<sup>ご</sup>彙<sup>い</sup> / 読<sup>どく</sup>解<sup>かい</sup> / 会<sup>かい</sup>話<sup>わ</sup>

### **授業計画 (Schedule)**

4/11, 4/18, 4/25, ~~5/2~~(\*), 5/9, 5/16, 5/23, 6/6, 6/13, 6/20, 6/27, 7/4, 7/11, 7/16(\*)

\*5月2日 (水) を休講にして、7月16日 (月) 4 限に補講を行う

\*学生の数・レベルにより、変更の可能性がある

4/11	診断テスト、L1 (& 2)	(6/12 (火) : 発表スライド提出—全員)
4/18	L2 & 3、学術共通語彙とは何か	6/13 L14 & 15、発表
4/25	L4 & 5、インタビューの表現	6/20 L16 & 17、発表
5/9	L6 & 7、インタビューの練習 トピック決定・リサーチの方法	6/27 L18 & 19、発表
5/16	L8 & 9、中間報告	7/4 L20 & チャレンジ1、発表
5/23	L10 & Review、中間報告	7/11 期末テスト、診断テスト
6/6	L11, 12 & 13、中間報告	7/16 (月 4) テストフィードバック、 チャレンジ2、まとめ

### **授業の方法 (Teaching Methods)**

Class meetings will be mainly spent on discussion based on checking the comprehension of assigned materials which focus on learning academic vocabulary and its application to reading modified academic texts. Students will also be asked to present information collected from interview tasks for the topics related the reading text or personal interest.

### **スライドまたはレジュメの条件**

- ・そのトピックにした理由を説明すること
- ・必ず教室外でのインタビュー／ディスカッションの結果を含めること
- ・二つ以上の具体例や異なる考え方を紹介し、それらに共通する点、対立する点を説明すること
- ・ディスカッションのポイント（上記の「対立する点」など）を含めること
- ・中級レベルの学生に難しいと思われる語句・表現について、リストを作成し、説明すること
- ・参考資料のリストを含めること

### **成績評価方法 Grading**

The performance on following items will be taken into account for the course grade:

- 1) Participation in class activities 10% \*positive contribution to discussions and so on
- 2) Homework 10% \*Students will be asked to show evidence to have done it every week in class.
- 3) Interview tasks and presentations 30%
- 4) Exams (academic vocabulary and reading comprehension from the textbook) 50%

### **教科書 Textbook**

石澤 徹・岩下真澄・桜木ともみ・伊志嶺安博・松下達彦（2018 予定）『ごいドン！ —大学で学ぶためのことば—』（仮題）くろしお出版

\* 5月下旬発売予定なので、それまではテキストの原稿を印刷したハンドアウト（教科書と同じ内容）を渡します。発売後に、教科書を買ってください。



## Attendance Policy (出席について)

\*出席が70%に満たない場合はF(=不合格)または「未受験」となる。30分未満の遅刻・早退は3回で欠席1回と計算される。30分以上の遅刻・早退は欠席とする。

## Makeup Policy & Due date (追試と締切)

\*提出物は原則として締切をすぎたら受け取らない。(事故や病気により遅れて提出する場合は、証拠(例:病院の領収証)を示すこと。)

\*試験や期末発表を事故や病気欠席した場合、原則として医師の診断書を提出した場合に限り、後日の受験などを認める。

## 不正行為の禁止

試験におけるカンニング、提出課題における他者の著作の盗用などの不正行為は固く禁じられている。提出課題は必ず学生自身のオリジナルでなければならない。他者の著作を引用する場合は、引用の範囲または内容と、出典が明示されていなければならない。カンニングや盗用が判明した場合には、大学の規定により、当該学期のすべての科目の成績が自動的に「不可」(F)となる。